

[基本教育科目/学習力の養成]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
スタートアッププログラムⅠ	NLA11_018	必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
山崎洋子 他	301	y.yamazaki	授業終了後メール等で質問等受付		
授業の目的・概要	大学で学ぶ自分を理解することを目的とする。大学生としての振る舞いや授業における姿勢・態度を身につけると共にレポートの書き方や文章の読み方など大学生としての知的生産スキルの基礎を学ぶ。また、同時双方向型授業やTeamsを活用したグループワーク等の意見交換を行い大学生としての自己理解と他者を思いやり理解する中で専門職のあり方について考える。				
学習上の助言	大学で学ぶために必要な基礎的知識を身につけるための授業です。欠席することなく、参加してください。また、大切なことはメモをする習慣をつけてほしいと考えています。筆記用具は、必ず持参してください。				
教科書	看護学生のためのよくわかる大学での学び方2/監修:前原澄子遠藤俊子/金芳堂/2018				
参考書	必要に応じ講義中に紹介する				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	大学での生活や学びがどのようなものか理解でき、実践できる		HSU(2), HSU(5), HSU(6)		
②	起承転結など、文章構成の基本を学び、レポートの作成ができる		HSU(5), HSU(6)		
③	他者に興味をもち、コミュニケーションの取り方を考えることができる		HSU(1), HSU(4), HSU(5)		
④	自分の意見を正確に伝える話し方を学び、実践できる		HSU(5)		
⑤	自身の考えを集約することができる		HSU(5)		
⑥	自分たちの意見を、レポートや口頭で発表することができる		HSU(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	学習の進め方についての説明、および、大学生としての授業態度について【山田】	同時双方向型授業	シラバスを見る		1
2	自己表現:自己紹介をしながら始めて会うクラスメイトとコミュニケーションを図る【山田】	同時双方向型授業	課題3:自身の自己紹介		1
3	チームワーク:指定されたチーム員とともに話し合いを体験し、課題を完成させる【石野】	同時双方向型授業	教科書108~119ページを読んでおくこと。授業中に提示された課題に取り組むこと。		1
4					
5	看護職者としての意識付け(職業意識の向上):なぜ看護を目指すのか整理する【馬淵】	同時双方向型授業	なぜ看護師を目指すのか、考えておくこと。授業中に提示された課題に取り組むこと。		1
6	大学での学びを考える:高校の学びとどこが違うのか考える(看護大学生としての心得・大学で学ぶということ)【星野】	同時双方向型授業	教科書1~8ページを読むこと。授業中に提示された課題に取り組むこと。		1
7	看護大学生としての身だしなみ【窪川】	同時双方向型授業	教科書94~96ページ、入学オリエンテーションで配布された「安全な実習のための医療接遇とコミュニケーション」を読んでおくこと。授業中に提示された課題に取り組むこと。		1
8	看護職者としてのSNS等の適切な使用方法【望月】	同時双方向型授業	教科書96~97ページ、20~25を読むこと。授業後、入学オリエンテーションで配布された「SNSにおける個人情報取り扱いガイドブック」を再度読み直すこと。		1
9	自学自習の方法:ほかの教科も含めた授業前後の学習の進め方や方法について【山田】	同時双方向型授業	今までの授業で学んだ部分の教科書を読み直すこと。		1
10	ノートの取り方【山崎(洋)】	同時双方向型授業	教科書10~19ページを読むこと。また、自身が作成したノートを見直すこと。		1
11					

[基本教育科目/学習力の養成]

12	ポートフォリオの作成について【佐野】	同時双方向型授業	教科書183~195ページを読んでおくこと。授業後、今まで配布された資料をまとめること。	1
13				
14	レポートを書く①:レポートとは何か、レポートの構成、表紙の書き方、引用の仕方について【山崎(洋)】	印刷教材等での授業	演習1を行い課題2の資料にする	1
15	レポートを書く②:文章を書く上での注意点、文体についてのおさらい(主語・述語・修飾語・接続詞等)【山崎(洋)】 フードバック:課題返却で実施 学生からの質問:随時メールで受ける			2
16	レポートを書く③:PCでのレポート形式設定方法【山崎(さ)】 フードバック:課題返却で実施 学生からの質問:随時メールで受ける	印刷教材等での授業	課題1:演習2で作成したPCで作成した文章作成の実施 課題2:レポート課題2で作成した分を電子媒体で提出	1
17				
18	レポートを書く④:実際にレポートを書いてみるテーマ「大学生生活を充実する為に守りたいこと」【各担任】 フードバック:課題返却で実施 学生からの質問:随時メールで受ける	印刷教材等での授業	レポート課題1:大学生生活を充実するために実践したいこと	2
19				
20	レポートを書く⑤:実際にレポートを書いてみる【各担任】 フードバック:課題返却で実施 学生からの質問:随時メールで受ける	印刷教材等での授業		2
21				
22	グループワーク訓練①:グループワークの方法と発表資料の作成方法について実践を通して学ぶ【山田】	同時双方向型授業 印刷教材等での授業	授業中に提示された課題に取り組むこと。	1
23				
24	グループワーク訓練②:提示されたテーマを基に発表の準備を行う【山田】	同時双方向型授業	課題4:4年間の学習計画	2
25				
26	自己学習訓練①:自身で選んだ本を読み、内容を理解する【山田】 フードバック:課題返却で実施 学生からの質問:随時メールで受ける	印刷教材等での授業	レポート課題2:読書感想文	4
27				
28	自己学習訓練②:他者に自分の考えを伝える内容を整理する【山田】 フードバック:課題返却で実施 学生からの質問:随時メールで受ける	印刷教材等での授業		3
29				
30	まとめ	同時双方向型授業		2
試	達成度評価・評価のポイントを参照			

[基本教育科目/学習力の養成]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	20	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	25	0	5	0	30
	思考・推論・創造する力	0	25	0	5	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	10	0	5	0	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	5	0	15
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	それぞれの授業で提示された課題について、評価をしていきます。授業で学んだ書き方を遵守すること。				レポートにコメントを入れて、返却します。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	使用した資料や、授業中に作成したレポートなどを順序だて整理されているかを確認・評価します。				確認したファイルは、コメントして返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥						
その他	①		同時双方向型授業中の態度や参加度、パソコン上での他者とのかかわり方から評価します。積極的に授業に参加してください。				問題のある行動をした学生には、直接大学メールで減点することを伝える。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>大学での「学び」はこれまでの「学び」とは異なり、非常に多くの特別な能力（スキル）が必要とされます。健康科学大学では「スタートアッププログラムⅠ・Ⅱ（看護学部）」という大学初年次の演習系授業を中心として、これらのスキルの習得を目指しています。本学の学生にはこれらのスキルを早く習得し、自らの「学び」を深めていくことを期待しています。</p> <p>Teamsを使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。</p> <p>担当教員：◎山崎洋子、山田真衣、その他全教員</p> <p><b>教員の実務経験：</b> 担当する看護教員は、保健師・看護師として実務経験が5年以上有したものが担当する。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b> 担当教員のこれまでの現場経験等をもとにコミュニケーションの取り方や発表の仕方など、グループワークを含めたアクティブラーニングを取り入れた授業を行う。</p> <p>※今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。</p>							